

6月6日(木) 国土交通省 九州地方整備局 松原ダム管理支所から4名のゲストティーチャーを迎え、8年生が松原ダムについての学習を行いました。学習内容は、ダムの果たす役割、松原ダムの最大貯水量と緊急放流についてで、特にご家庭でも留意してほしいのは以下の内容でした。



松原ダムでは1秒間に最大1100tの水(およそ25mプール3個分)を放流することができるが、上流部からそれを上回る水が流入し、貯水量の限界に達した場合は、流入する水をそのまま下流に流すことになる。これを「緊急放流」と言う。緊急放流が行われる場合、3時間前から警報や放送で知らせることになっているので、速やかに避難してほしいし、「緊急放流」というワードには敏感に反応してもらいたい。現在のダムは、梅雨に備えて貯水量を18%程度に減らしている。ダムの状況は「国土交通省 川の防災情報」から入手することができるので、関心をもって見てほしい。

この「緊急放流」が行われる場合を想定して、どこに・どうやって避難するかなど、梅雨入り前にご家庭で話題にしてほしいと思います。

### 福井希彩さんの感想

今日はダム関係者の方に来ていただき、ダムの学習をしました。私の地区は沈み橋があり、緊急放流があると橋も沈むし、家も絶対に被害にあうので早めに避難することを忘れずにしたいと思います。

### 吉野可純さんの感想

総合の時間に松原ダムについてお話をしに来てくれました。国土交通省の川の防災情報というページで川の水位などが分かって驚きました。緊急放流をするときは大量の水が流れて危険だから避難したいと思いました。

学校や自治体などいろいろな組織で、災害や緊急事態の発生に備えて避難訓練を行います。6月2日(日)に大山町でも避難訓練がありました。生徒にはできるだけ参加するように担任から呼びかけてもらいましたが、参加はとうだったでしょうか。

### 避難訓練に参加した諫山琉碧くんの感想

地区の避難訓練に参加しました。いつでも避難できるように心がけて生活したいと思います。



2回目の生活日誌習慣(5/20~5/24)の結果が出ました。第1回目の「家庭学習」が「目標学習時間達成」+「メディア利用ルールが守れた」ことが条件になっており、どちらができなかったのが把握できなかったため項目を分けました。いずれも7年生においては「守れていない」生徒が多い結果が出ていますが、前回は65%だったことを考えれば改善が図れているとみることができます。生活日誌習慣の結果は、各個人に担任が面談しながら返却し改善を促すことになっています。